



# 私たちの暮らしと税金～税金の重要な役割について考える～

最上町立富沢小学校教諭 6学年 有江 慎  
 実施年月日：平成30年12月25日 5名

## 1 実施計画・指導のねらい

本校は、5・6年生の複式学級であるため、昨年度6年生が税の学習をしたときに、「租税教室」で一緒に税の学習を今年度の6年生（昨年度5年生）もやっている。本年度は、自分たちが学習しなければならない事項として、昨年度学習したことをさらに詳しく学習し、税金の重要性について理解を図りたいと考える。子どもたちの身近な税金と言えば消費税である。子どもたちも買い物をしたときに支払っている。ただ、消費税も含めその他の税金がどのような使われ方をしているのかはまだはっきり分かっていない。町議会の傍聴や資料などを通して、税金がどのように私たちの暮らしのために使われているのか、また税金がない場合、社会はどうなってしまうのかなどを知り、税金の重要性について考えさせていきたい。

## 2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・税金とは何かを考える。 	○税金とはどんなものですか。 ●消費税って聞いたことがあるね。 ●僕たちも払っているよ。 ●昨年度「租税教室」で学習したときに、消費税とか法人税って言葉を聞いたね。 ○税金は何に使われているのでしょうか。 ●町のいろいろなものに使われているんじゃないかな。 ●学校だって税金で建てられているよね。 ●今使っている教科書だって税金からお金が支払われているよね。 ○「わたしたちの暮らしと税金」を見ながら、税金について学習しましょう。 ●税金にはいろいろな種類があるね。 ●税金はいろいろな公共施設などの建設に使われているんだね。 ●学校も税金によって成り立っているんだね。 □使用教材名：パンフレット「わたしたちの暮らしと税金」
2	・税金の必要性や重要性について考える。 	○税金は本当に必要なのでしょうか。 ●消費税って結構かかるよね。 ●今度は10%になるんでしょ。 ●そんなに必要なかな。 ●税金を払わなければ、結構儲かるんじゃないの？ ●プロ野球選手も、ものすごい税金を払っているって聞いたよ。 ○「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を見てみましょう。 ○感じたことや思ったことを書きましょう。 ●税金がないととんでもないことになるね。 ●ゴミを集めるのも、消防車や救急車を呼ぶのも税金が使われているんだね。 ●税金ってとても大事なものなんだね。 □使用教材名「DVD マリンとヤマトの不思議な日曜日」

### 【指導のポイント】≪1時間目≫

「税金とは何か」を考えさせるために、身近な税金について発問したり、昨年度の「租税教室」を想起させたりして、税金の大まかなイメージ作りをした。その後、「わたしたちの暮らしと税金」を使用し、内容を確認することで、税金に対する確かな理解を深めた。

### 【指導のポイント】≪2時間目≫

税金の仕組みや多くのものに役立てられていることは前時の授業で理解できたが、本当に必要かどうかという発問を投げかけることで、税金の重要性について理解を深めさせたいと感じた。結構な額を税金として納めていることに気づくことで、心情的に税金の負担感について確認した後、DVDを見せた。それでもやはり、みんなが気持ちよく暮らしていくには、税金が必要であることを「もしも税金がなかったら」という視点から考えさせた。子どもたちの感想から、税金の重要性について、理解できたと思う。

### 【指導のポイント】

#### ≪3・4時間目≫

実際に町議会を傍聴することで、税金の使われ方がどのように決まっていくのかを実感してもらった。話し合っている内容はかなり難しいものであったが、議会の雰囲気を感じ、町のことの全てがこの議会を通して決まっていくことを理解できたことは、子どもたちにとって大きな収穫になった。

## 3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎「わたしたちの暮らしと税金」などの資料を活用することで、教科書だけでは分からなかった税金の種類や予算に対しての税金の割合など、広く深く学習することができ良かった。
- ◎「もし、税金がなかったら」ということを考えさせることで、税金に対しての心情的なイメージを払拭し、国民としての義務でもあり、自分の暮らしを安全で安心なものにしていくために必要であることを理解できた。
- ◎町議会を傍聴することで、実際に税金の使い道がどのように決まっていくのかを実感することができた。また、自分たちが住んでいる町をよりよくしようと頑張っている方々の様子が見られて良かった。
- ◆時数の関係で、このような単元構成になったが、今度はこれからの税金はどうあるべきかなど未来について考えさせるような発問を取り入れて、子どもたちに考えさせることも、自分たちが社会に出たときに役に立つのではないかと感じた。
- ◆町議会を傍聴し、議会の様子を実感できたことは大変有意義であった。しかし、子どもたちにとってはかなり難しい内容だったようである。事前にもっと詳しく議会の大まかな仕事の内容を把握したり、議題の内容を分かりやすく説明したりすることが必要だったと感じた。
- (その他)「租税教室」やDVD視聴、議会傍聴など体験的な学習をすることで子どもたちが意欲を持って取り組んでくれた。準備は大変だったが、その分子どもたちの身になる学習ができたことが何よりであった。